

新庁舎住民投票へ／東かがわ市民グループ署名提出

四国新聞 2012/10/11

東かがわ市が計画する新庁舎建設の是非を問う住民投票の実施を目指す、市民グループ「統合新庁舎建設を考える会」（田中隆司代表）は10日、8291人分の署名を市選管（笠井政雄委員長）に提出し、受理された。今後、署名の審査などの必要な手続きを経れば、市が住民投票条例制定案を市議会に提出する見通し。

市民と市議でつくる同会は、▽新庁舎は必要なく、現在の3庁舎を耐震補強し、使用するべき▽新庁舎の建設予定地は海抜が低いなど防災上の問題がある一などと主張。地方自治法に基づき、市執行部に同制定案の提出を求めるには、有権者（9月2日現在、2万9335人）の50分の1（587人）以上の署名が必要で、9月5日から10月5日まで署名活動を行っていた。

この日はメンバー5人が市役所白鳥庁舎を訪れ、市選管の職員に署名を提出。集めた署名数は条件を上回っているとみられ、手続きが順調に進めば、市は12月上旬までに同制定案を市議会に提出する。